

ラ・フランス収穫適期判定指標

山形県、ラ・フランス消費拡大推進協議会

収穫盛期のたまかな目安

●満開後 169日頃

＜園芸試験場の平均(H15～24)＞

〔満開期 5月1日の場合 … 10月17日頃
5月5日の場合 … 10月21日頃〕

◎夏期間(8月～9月)の天気と収穫期の早晩

「高温で日照が多い」

→ 満開後日数が長くなる。(収穫が遅くなる)

「低温で日照が少ない」

→ 満開後日数が短くなる。(収穫が早まる)

●収穫時の留意事項

- ・収穫適期の果実は枝から取れやすくなる。
- ・樹勢が弱い樹、樹の上部、南側の日あたりが良い果実は、成熟が早い。

果実調査で、熟度を判定する

●ヨード反応指数:2.5～1.5

◎ヨード反応による調査方法

- ・果実の果芯部を輪切りにして、断面に筆などでヨード・ヨードカリ液を塗る。
- ・15分後の染色程度を判定する。→裏面参照。
- ・平均的な生育の果実 2～3個以上で判定する。

＜ヨード・ヨードカリ液のつくり方＞

- ・水100ccにヨウ化カリウム5gとヨウ素1gを溶かす。

※ヨウ素(劇物)の取り扱いには十分注意する。

ヨウ素は溶けにくいので、ぬるま湯で溶かすのが良い。

ヨード反応指数と収穫始期までの日数の目安

指数	4.5	4.0	3.5	3.0
収穫始期 までの日数	20～25日	15～19日	10～13日	5～7日

※1日0.08～0.1下がるとして、指数2.5に達するまでの日数。

◎収穫前の天気とヨード指数の低下

- ・雨の日や、平年より高温の日は、指数の低下が遅くなる。
- ・平年より低温の日は、指数の低下が早まる。

ヨード反応指数と収穫適期の目安（ラ・フランス）

4.5



4.0



3.5



3.0



未熟

収穫早い

収穫適期

1.0



1.5



2.0



2.5

